

- ホームズ君「省エネ診断」では、主に新築向けとして建物全体の評価が行える新築モードとリフォーム向けのリフォームモードがあります。
- リフォームモードでは、改修前改修後の比較評価や、建物の部分的なリフォームに対応する部分区画の断熱性能の評価ができます。
- 建物の部分区画の評価は、長期優良住宅化リフォーム推進事業に基づき部分区画の「外皮平均熱貫流率UA」および『改修版自立循環型住宅への設計ガイドライン』に基づく「区画熱損失係数Q*(キュースター)」で外皮性能を判定します。

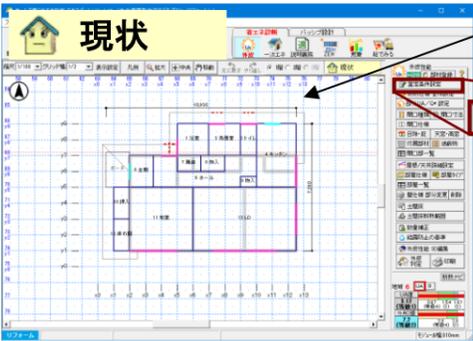
① 建物概要



新築と同様に、建物名、建物コード、階数、モジュール幅、方位を入力し、建築地の地域を選択します。

② 現状プランの入力

改修前を現状プランとして入力します。

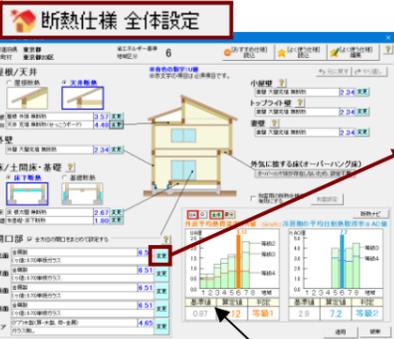


新築と同様に、壁、開口部、部屋名、屋根等をCAD入力します。

算定条件設定

リフォームモードを選択します。

高さ情報を入力します。

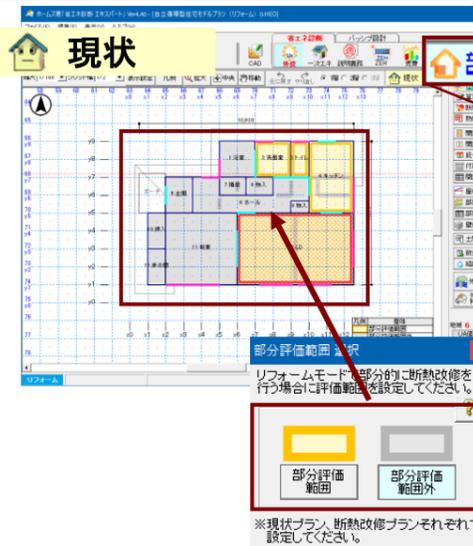


屋根・天井、壁、床等の各部位の断熱仕様や開口部の仕様を設定します。

③ 部分評価する場合の設定

リフォーム部分を設定します。

「部分評価する」を選択します。



部分評価設定(部分UA、Q*)

部分評価しない

部分評価する(部分UA、Q*)

部分評価範囲選択

Q*算定

Q*算定を行わない

Q*算定を行う

対象室: LD

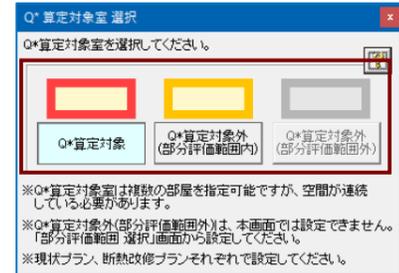
Q*算定対象室選択

暖房室設定

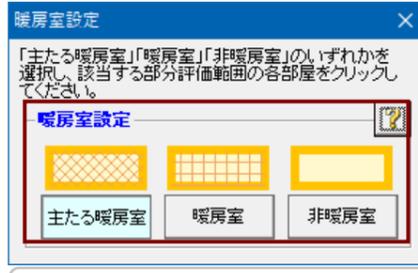
気流止め措置

部分評価範囲(リフォーム部分)の部屋をクリックします。

Q*(キュースター)算定を行う場合は以下の設定も行います。



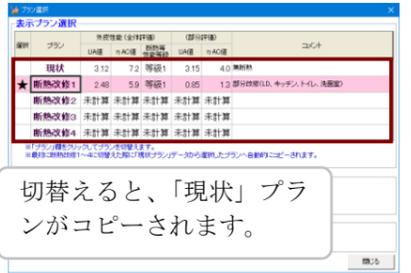
Q*算定を行う部屋を設定します。



リフォームを行う部屋の暖房有無を設定します。

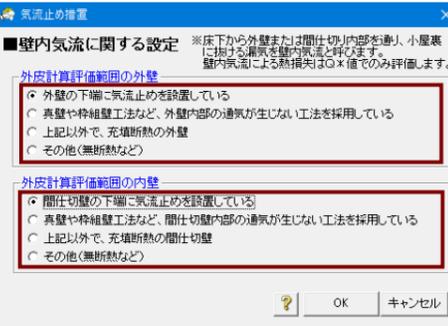
④ プラン切替

「現状」から「断熱改修」にプランを切り替えます。



切替えると、「現状」プランがコピーされます。

⑤ 気流止め措置



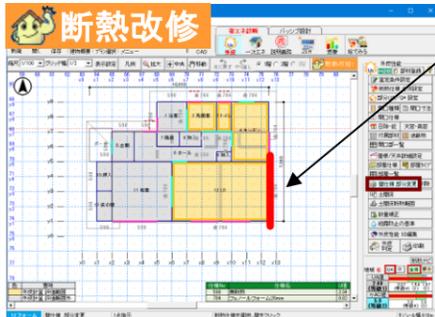
部分リフォーム後の「壁内気流」に関する措置を選択します。

⑥ 外壁・内壁仕様変更

断熱改修対象の屋根・天井、壁、床等の各部位の断熱仕様や開口部の仕様を設定します。

壁仕様部分変更

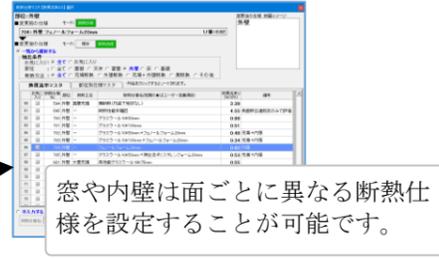
壁の断熱仕様を変更する箇所を指定します。間仕切り壁にも指定できます。



⑦ 3D確認・編集



3D画面で、現状との比較や断熱仕様の変更も可能です。

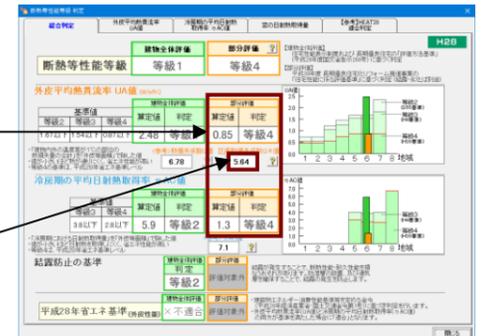


窓や内壁は面ごとに異なる断熱仕様を設定することが可能です。

⑧ 外皮判定

UA値およびηAC値について、リフォームした部分の外皮性能の判定を行います。

区画熱損失係数Q*値を確認できます。



⑨ 計算書出力

絵でみる省エネ診断書



UA値とηAC値の詳細を示した診断書です。計算や考え方をグラフやイメージでわかりやすく説明できます。

絵でみるわが家の断熱診断書



設計プランと、H28省エネ基準の比較結果を示した計算書です。室温や暖冷房費の予測なども説明できます。

絵でみる省エネリフォーム計画書



断熱改修リフォームの効果や改修の内容・範囲を示した計算書です。UA値、Q*値の向上だけでなく、室温、快適性、健康性の改善効果も説明できます。